

飛躍

HIYAKU

第221号



東海大学附属高輪台高等学校 学校報

●発行日/2004年4月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体軀を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

613名の新入生、入学おめでとう!!
高輪台高校でのみなさんの、
さらなる飛躍を期待します。

◎SHIP・カナダ中期留学生無事帰国・・・P5

◎物化部、古高さん・佐藤君 産学交流シンポジウムで研究発表・奨励賞受賞・・・P6



自信をつけ、大きく成長したカナダ中期留学生。



理学博士・工学博士らを相手に研究成果を発表する古高さん。

と・び・ら

これまで本校は教育のハード、ソフトの両面で様々な改革に取り組み、大きな成果をあげてまいりました。しかし、公立高校の教育改革がめざましい昨今、本校は決して現状に満足することなく、更なる改革を目指していくつもりです。

我々はここに『2004年度学校運営方針』の中に「学校改革・改善」を掲げ、

以下の7項目で改革に取り組んで行くことをみなさんにお伝えしたいと思います。

- ①「進路指導」の徹底と強化
- ②「学力をつける」ことへの確かな保証
- ③「生徒募集・広報活動」の充実
- ④「総合的な学習の時間」「現代文明論」の変革と更なる充実
- ⑤「愛校心」を育てる教育と、本校の学力水準を維持した上での重点強化部の指定
- ⑥「教員の研修・スキルアップ」の強化
- ⑦「理科モデル校」「現代文明論モデル校」「英語指導の充実」などの特色ある学校作り

ル校」「英語指導の充実」などの特色ある学校作り

などのような具体的な目標を掲げ、創立61周年を迎える今年度も、本校は更なる『飛躍』を遂げてまいる所存です。この改革を成功させるには本校教員の努力はもちろんのこと、生徒諸君の意識や、何より保護者の方々のご理解がなくてはなりません。是非ともご協力をいただき本校の発展に寄与していただければと思っております。なお、具体的な取り組みについては次号でお知らせ致します。

Topics 学園基礎学力定着度テスト 4月13日(火) 詳細はP10の掲示板上に

2004年度 学級担任・学年所属・教科主任 紹介

3月には、これまで学校に貢献された先生方が定年で、あるいは異動で本校を去られ、寂しい別れをいたしました。4月は新一年生と新しい先生方を迎えてのスタートの月です。新しい一歩をみなさんで歩き始めましょう。

役職表

学校長	杉 一郎
副校長	池淵 元
教頭	片桐知己治
事務長	諸星 増光
教頭補佐	藤原 広司
教務主任	高林 茂
生徒主任	酒井 孝允
進路指導主任	梶野 雄二
研究主任	梶川 克之
危機管理室	池淵 元
生徒募集対策室	片桐知己治
メディアセンター	藤原 広司
生徒相談・登校支援室	島 晴己子
IT推進・情報管理室	野々村 淳
第3学年主任	神田 秀樹
第2学年主任	伊藤 明
第1学年主任	飯田 雅美

学級担任・学年所属

学年	第1学年			第2学年			第3学年		
学年部主任	神田 秀樹(国語)								
主任	飯田 雅美	理・情	伊藤 明	国語	神田 秀樹	国語			
副主任	高橋 昇	英語	江口 淳二	国語	米谷 昭人	保体			
1組	普 高橋 昇	英語	文 江口 淳二	国語	文 米谷 昭人	保体			
2組	普 吉田 恵美	英語	文 三木 雄介	保体	文 松本初津美	英語			
3組	普 佐藤 裕行	理科	文 野崎 和夫	理科	文 橋 健治	英語			
4組	普 酒井 美季	英語	文 小松原洋行	英語	文 宮島 孝一	公民			
5組	普 笹木 春光	保体	理 數馬 大介	国語	物 若井 牧夫	英語			
6組	普 毛利 均	地公	理 佐藤美由紀	英語	物 吉川 博人	保体			
7組	普 中道 良子	英語	理 石井 良	理科	物 小貫 俊介	理科			
8組	普 東出 葉月	国語	理 山口恵美子	芸術	生 田中 正行	数学			
9組	普 キム・ホジョン	保体	理 田村 英典	数学	生 金子真奈美	国語			
10組	普 西川 秀一	数学	理 高橋佑未子	英語	特 大澤 泉	英語			
11組	普 益田 和美	国語	特 高木 公子	数学					
12組	特 桑原 賢二	数学							

教科主任

教科	氏名
国語科	益田 和美
地歴・公民科	宮島 孝一
数学科	野々村 淳
理科	佐藤 裕行
	(梶野 雄二)
保健体育科	笹木 春光
芸術科	山口恵美子
英語科	大澤 泉
家庭科	(若月多佳子)
情報科	高橋 幸夫

学年所属	見村 敏郎	国語	杉山 元夫	地公	島貫百合子	地公
	松橋 敬一	保体	北田 邦夫	地公	田辺 統久	数学
	畠田 貴生	理科	渡部 晃	保体	倉田 滋夫	理科
	島田 聡	英語	小泉東一郎	芸術	南館由里香	英語
	高橋 幸夫	情報	田中 亨	英語		
			松澤 幾代	養護		

教科担任

教科	氏名	教科	氏名
国語	小山 絢	保体	小成 勝也
	清水 智明		長島亜伽音
	野口 大輔		川島 純一
地公	岩崎 隆弥	美術	小口 偉
	齋藤 亘		高野 道子
	関根 章文	英語	小田井勝彦
井原 俊幸	鈴木 敬子		
小林智恵美	西沢 慕美		
佐藤 愛子	宮原 洋平		
岡 康之	村田千代子		
宮崎 紀子	ウーエン・タイヌーエン		
山田進一郎	キム・クロニン・カナミ		
上松 未来	トッド・スペースパーキンス		
河野芙美子	レネー・レンジェル		
竹内 和子	ファイビー・パバティミク		
山田 武範	マイロ・エイシ		



新年度準備の職員室の風景。

2004年度 部・同好会顧問 紹介

クラブハウスも完成し、今年度はサッカー部、野球部、男子バスケットボール部、柔道部、吹奏楽部を強化部に指定し、強力な指導者やコーチを招きました。顧問、監督、コーチ、講師、部員が一丸となって飛躍し、高輪台の精神である文武両道を達成してください。強化部については来月号で紹介する予定です。

部顧問(運動系)

部	顧問	備考
1. 陸上競技部	飯田 雅美	
	小松原洋行	
2. 男子バスケットボール部	米谷 昭人	監督
	高橋佑未子	
3. 女子バスケットボール部	吉田 恵美	監督
	高橋佑未子	
4. 男子バレーボール部	田中 正行	監督
	(長島亜加音)	
5. 女子バレーボール部	キム・ホジョン	監督
	(長島亜加音)	
6. ソフトテニス部	野々村 淳	監督
	松本初津美	
7. スキー部	橋 健治	
	渡部 晃	
8. 卓球部	野崎 和夫	
	田村 英典	
	(藤原 広司)	
9. ラグビー部	三木 雄介	監督
	松橋 敬一	
	(田村 謙一)	(コーチ)
10. サッカー部	吉川 博人	監督
	江口 淳二	
	西川 秀一	
	(川島 純一)	(コーチ)
11. バドミントン部	益田 和美	
	東出 葉月	
	(小林智恵美)	
12. 柔道部	酒井 孝允	監督
	(小成 勝也)	
	(北田 晃三)	(コーチ)
13. 剣道部	笹木 春光	監督
	小貫 俊介	
14. 弓道部	南館由里香	
	佐藤美由紀	
	(小田井勝彦)	
15. テニス部	島田 聡	
	中道 良子	
	(井原 俊幸)	
16. アーチェリー部	毛利 均	
	高橋 昇	
	(久保 誠)	(コーチ)
17. 野球部	宮島 孝一	監督
	桑原 賢二	
	數馬 大介	
	(古屋 信之)	(Pコーチ)
	(神原 央)	(コーチ)
18. ゴルフ部	高橋 幸夫	
	神田 秀樹	
19. ダンス部	高木 公子	
	佐藤 裕行	

部顧問(文化系)

部	顧問	備考
1. 放送部	藤原 広司	
	見村 敏郎	
	高林 茂	
2. 吹奏楽部	畠田 貴生	
	田辺 統久	
	山口恵美子	
	(加養 浩幸)	客員講師
3. 演劇部	(高野 道子)	
	北田 邦夫	
	(野口 大輔)	
4. 物理化学部	梶野 雄二	
	石井 良	
5. 写真部	杉山 元夫	
	伊藤 明	
6. 美術部	小泉東一郎	
	南館由里香	
7. マルチメディア部	若井 牧夫	
8. 茶道部	金子真奈美	
	(石田 康代)	
9. 軽音楽部	倉田 滋夫	
	島 晴己子	

同好会顧問

同好会	顧問	備考
1. ESS同好会	酒井 美季	
	田中 亨	
2. 文芸研究同好会	島貫百合子	
3. 華道同好会	金子真奈美	
	(清水 邦子)	
4. ディベート研究同好会	梶川 克之	日本語ディベート
	大澤 泉	英語ディベート



TOP*NEWS

613名の新入生、入学おめでとう!!

新入生を迎えるにあたって



1学年主任
飯田 雅美
理科、陸上競技部

新入生の皆さん、新入生のご家族の皆様、ご入学まことにおめでとうございます。数ある高校の中で本校をお選びいただき、ご入学していただいたことを深く感謝いたします。また、今後3年間新入生の皆さんに対し満足していただけるような教育をしていく責任の大きさをかみしめながら、今日の日を迎えております。新入生の皆さんは東海大学付属高輪台高等学校

に入学をしたわけですが、それは同時に学校法人東海大学という大きな学園の一員になったということも意味しています。これから3年間の高校生活を送っていく上で、このメリットを大いに活用して欲しいと思います。

その一つとして、他の高校では考えられないような、全付属高校(15校)を対象とした行事などがあります。これに参加することにより、日本全国に友人ができるだけではなく、広い視野で物を見ることができるようになります。

学園全体で行う行事としては、学園オリンピック(スポーツ・国語・数学・理科・英語・芸術・知的財産の各

部門)・夏季英語海外研修・ヨーロッパ研修などがあります。その他、ディベート東海や生徒会懇談会なども全国の付属高校の代表が集まって行われております。

さて、本校の最大のメリットとして、「受験校ではないが進学校である」ということが挙げられます。これはもちろん付属推薦のことを意味しています。大学受験に向けての勉強が必要ない分、部活動や委員会活動・ボランティア活動など、自分のやりたいことに時間を費やすことができます。自分のやりがいを見つけて、高校時代をのびのびと有意義に過ごして欲しいと思っています。

英検が人生を変える?



進路指導副主任
田中 亨
英語科、ESS同好会顧問

早速ですが、質問です。英検2級・準2級を取得すると、それぞれ高校何年生終了とほぼ同等の力があると言えるでしょうか。答えは、英検2級は高校卒業程度、英検準2級は高校2年生終了程度です。ということは、もし中学生の段階でこれらの級を取得していたとしたら、その中学生は相当英語力があるということになります。実はこの4月、2級取得者4名、準2級取得者43名が本校1年生として入学しました。これからの英語力の伸びが、実に楽しみです。

本校ではCALLの授業を中心として、英検対策の勉強に全校生徒が取り組み、年3回の受験が義務付けられています(但し、1年生の第一回と、3年生の第三回は任意受験)。

ここ数年の状況を見ていますと、一次試験に合格していながら、あと一步というところで二次試験で不合格となってしまう生徒がいるのが残念です。二次試験対策は、CALLの

教材や各自購入済みの問題集でも勉強は十分可能ですが、なんとと言っても英語を話すということに慣れる必要があります。「そんなこと、自分ではできない」と言って、勉強方法を探ることをあきらめていませんか。カンパセーション・ラウンジへ行けば、放課後、ネイティブと自由に話することができます。二次試験の練習をすることを頼めば、喜んで練習に応じてくれます。オーラルの授業で、意欲的に英語で話すことは、英語で話すことに対する緊張感を取り払ってくれます。英語力があるのに、緊張したために二次試験を不合格となる人も結構いるのです。

さて最後に、英検合格は「通過目標」であって、「最終目標」ではないということを肝に銘じてください。英検に合格すれば、読む・聞く・書く・話すの4技能の力が認められたこととなります。その英語力を自信・土台として、英語で自分を表現し、英語を発信すること

で自分の世界を広げて欲しいのです。社会に出てから、英語力のある人は実に有利な立場に立つことができます。「そんなことを言われても、何から手をつけていいのか…」と言っている君。高輪台の英語の授業は、君たちの世界を広げる「英語を道具とした」一味違った授業展開になっているのではないですか。授業を大いに活用してください。そして、もっと力をつけたい人のために、「SHIPハワイ留学」や「カナダ中期留学」の機会があるのではないですか。留学から帰ってきた先輩達は、英語「で」自分の世界を広げ、人生観や性格まで変わって帰国してきましたよ。



英語の授業風景・厳しさの中にもなごやかさが。

SHIP・カナダ中期留学生無事帰国



前教務主任
中出 光政
現初等中等教育課長

東海大学は一貫教育を全面に打ち出し、さまざまな取り組みを行っています。中でも高校3年生後期における東海大学・東海大学短期大学部への体験留学、エクステンションセンター（簿記・秘書検定・TOEFL等の資格講座）、SHIP（ハワイ東海インターナショナルカレッジへの中期留学）、カナダ中期留学は一貫教育の大きな柱となっております。今年も多く3年生が、大きな成果をあげてくれました。今回はその中でもSHIPとカナダ中期留学にスポットを当て、このプログラムがいかに有意義

かわいい子には、旅をさせろ

なものであったかを、ご紹介したいと思います。

まずSHIPプログラムは、4年前より3年生の後期に参加する海外留学としてスタートし、今年も9名（男子3名、女子6名）が77日間にわたるハワイ留学を行いました。このプログラムはHTIC（ハワイ東海インターナショナルカレッジ）で寮生活をしながら講義を受け、英語を学ぶ内容になっています。また、年末年始の1週間は現地の家庭にホームステイをし、異文化交流も致します。

第一回カナダ中期留学にあたる今回は女子9名が参加しました。

期間中の52日間は、語学学校で学びながら一人ひとりがホームステイをし、全く日本語を使用しない環境の中におかれて学習をしました。ホストファミ

リーとの強い絆もでき、彼女たちが人間として一回りも二回りも成長したことが見て取れました。身振り手振りのコミュニケーションから徐々に言葉（外国語）によるコミュニケーションを獲得していき、人間としてステップアップしていく様子を今回目の当たりにした私は、本当にこの時期の海外留学のもたらす意義の大きさを改めて感じました。甘えの許されない状況に自分を追い込み、真剣に学問に取り組んだ本校の生徒達が英語の力を飛躍的に伸ばしたことは、想像に難くないと思います。

「かわいい子には旅をさせろ」という先人の教えが身に強く響いてきました。

これからも我々は、このように生徒の成長を促していけるような教育活動を続け、多くの感動と出会っていきたいと思っております。

留学体験記



ハワイSHIP・プログラムに参加して

東海大学・HTIC教養学科進学
松村 晶子
3年3組、板橋区立志村第四中学校出身

私たち49名は、去年の12月14日に成田を出発し2月27日に無事帰国しました。

ハワイに到着後すぐに寮に入りましたが、最初は「どんな生徒と同室になるのか？」と不安でした。1週間後、ホームステイが行われ、ハワイの家庭で、まるで本当の子供のように一緒に生活し、いろいろなショッピングセンターに連れて行ってもらったりしました。特に印象的なのは、新年を祝うのに、大晦日の夜から花火の音が町中に響き渡ったことでした。文化の違いに驚きました。

1月から授業が本格的に始まり、60分の授業が毎日6時間あり、毎時間宿題が出され、夜中の2時半位まで勉強するのが当たりまえでした。でも、週末は観光したり、ビーチで泳いだり、寒い日本からは全く想像出来ませんでした。

このプログラムに参加して本当に良かった点は、英語を通じて、いろいろな友達が出来たり、外国人の先生と交流が出来たこと、寮生活を通して、自立心、協調性が十二分に身に付いたことです。

私にとって、この3ヵ月は充実した、とても素敵な日々でした。引率の先生方を始め、お世話になった方々に感謝しております。最後に、英語が好きな人なら誰もが参加して欲しいと思います。



カナダ中期留学に参加して

東海大学・文学部 英語文化コミュニケーション学科進学
花井友里恵
3年4組、川崎市立京町中学校出身

1月4日から52日間、カナダ中期留学に行ってきました。まず1ヵ月は語

学学校に通いました。学校にはメキシコや韓国、中国など様々な国の人がいて、学校内は母国語禁止。宿題も多く、毎週月曜はテストで毎日大変でしたが、お陰で力はかなりついたと思います。また、様々な国の文化も学ぶことができました。

その後は現地の学校に3週間ほど通い、5科目を選択して学習しました。日本にはないアクセサリーを作る授業などがあり、ピアスやプレスレットを作りました。体育は中学生以来の屋外でのサッカー、ラクロス、ホッケーなど、言葉の壁を乗り越えて楽しむことができました。驚いたことは、どの授業も寝ている人がいないこと、たとえ先生がお休みでも生徒だけで勉強をしていました。選択制の長所かと思いました。イベントもカラオケナイトやダンスパーティーなどがありましたが、最初彼らのノリについていけず、日本人だけ隅っこに集まっていたのが慣れてくると、これがカナダなのだと思えることができました。この2ヵ月間はホームステイでしたが、ホストファミリーの方たちはみな良い人で楽しい生活を送ることができました。

物化部、古高さん・佐藤君 産学交流シンポジウムで研究発表・奨励賞受賞

桐蔭横浜大学工学部産学交流シンポジウムに参加して



有瀬 忠憲
前物理化学部顧問
本年三月退職

2月28日、桐蔭横浜大学工学部で第6回産学交流シンポジウムが行われた。このシンポジウムは、高校・大学・一般社会人を巻き込んだ発表の場である。小規模ながら参加人数は200名ほどであった。

会場では、思わぬ事が起こった。「高校生と一般社会人は自分の研究内容を3分に要約して全体に発表するように・・・」と案内状にはない突然のアナウンスがあり、生徒と一緒にとまどってしまった。古高真美さんのマイクをもつての発表は、過去に何回かの公の場で発表していたので上

手く3分でまとめてくれた。高校生としては合格点をあげられる。佐藤和弘君も一年生の時から、大勢の前で、研究発表をしていたので無難にまとめていたが、緊張の色は隠せなかったようだった。

一通りの発表が終わると、見学者たちが各ブースで個人的に研究を聞くことになっていた。廃棄されていたキチンを再生させる研究は、これまで誰も手がけていない分野だったため、関心度も高かった。工学博士、大学の教授も生徒に質問し、それに小高さんも佐藤君もきちんと答えていた。人口貝殻をつくりたいという研究

テーマをもった先生が学生を連れてきて、熱心に私たちの研究に耳を傾けてくれた。

本校が表彰式で、「奨励賞」をいただいたのは、私たちの研究内容が認められた証でもあるので嬉しいことであった。



参加者にわかりやすく説明する佐藤君。

初めての実験発表(カニの甲羅から印刷インキを作る)



東海大学・工学部
生命化学科進学
古高 真美
3年8組
中央区立銀座中学校出身

桐蔭横浜大学で開かれた産学交流シンポジウムで発表した私の実験内容は、「キチンから印刷インキを作る」という題です。

キチンとは、カニの甲羅等に30%

程含まれている物質ですが、現在は甲羅ごと廃棄物として大量に処分されています。キチンをただゴミとして捨てるのではなく有効利用に活かせないかと考え、この実験を行いました。

私は、まだ誰も研究していない実験をするのも、その実験を公表し、解説するのも初めての経験でしたので非常に緊張しました。マイクを用いた発表は、3分の制限時間があり

ました。最初は、3分を長く感じていましたが、解説しているとアツという間に過ぎてしまいました。興味を持った方へ実験内容や何故このような結果になったのか、問題に対しどう対処したのかなど、質疑応答等を考えて解説するのは難しいことでしたが、とてもやりがいのある発表だったと感じました。

産学交流シンポジウムに参加できたことを光榮に思います。

桐蔭横浜大学での発表を振り返って



東海大学・理学部
化学科進学
佐藤 和広
3年8組
荒川区立諏訪台中学校出身

今回の桐蔭横浜大学での発表は、私の高校生活最後の発表会だったので、いつも以上に緊張していた。この大学で行った発表は、口頭発表とは異なり、緑日の屋台のように、自分のプー

スで研究したことやその結果を、参観者に説明するというものだった。発表が始まってしばらくの間は誰も見に来てくれず、心配していたが、時間がたつにつれて、他の学校の生徒や教員の方々が見に来てくれ、自分の研究について説明し、意見をもらい、とても充実した時間が過ごせたと思った。

このような発表形式の途中で、3分間マイクを持ち、全体にアピールするという時間があつた。自分の番

が近づくにつれて緊張していき、自分の番になった時はあがってしまい、全部説明できずに終わってしまったことが今でも悔やまれる。

発表が終わり、表彰式で表彰された時に、自分の研究が認めてもらえたんだと思い、これまでの努力が報われたと思った。そして、大学に入学してもただ授業を受けるのではなく、目標を持ち実現させるために努力していこうと思う。

短大

INFORMATION

INFORMATION

やればできる。 がんばれ高輪台高校の皆さん!

東海大学短期大学部
学長 松前 仰

情報が世界を動かしている。地球を回る人工衛星は世界中の情報を扱い、マイクロソフトは世界の隅々に情報を伝えている。地球をくもの巣のように包む情報・ネットワークを引っ剥がしたら、人間は孤独になって気が狂ってしまうであろう。世界中の生活を豊かにするこのインフラストラクチャーを使いこなせるような人になる勉強をするところが、隣の短大です。

皆さんは短大をどのように思っているのでしょうか。軽蔑の気持ちはありませんか。競争社会の中での学力中心主義が社会での弊害になっていることを、いやというほど経験してきた私は、たとえ学力は低くとも、短大生の中に人を見出し育てるのが私の仕事、とって一生懸命やっています。

私は社会に向かって自ら揉まれに行ったことをひそかに誇りに思っています。今日は、恥ずかしいけれども、その一端を紹介しますから、笑いものにしてもいいし、またこの中から何かを見つけてもらってもいいと思います。

私は、大学時代から情報通信を専門として勉強してきました。私は、卒業して情報伝達に責任を持つNHKに入りました。派手で目立つ職業だったからではありません。社会のために放送という仕事を通じて貢献できるのではないかと、という気持ちからだったのです。

だが、入ってからは日常の仕事の仕組みを理解し、組織にアクセスできるようになることで精一杯でした。鹿児島放送局勤務や、テレビの中継業務での体力勝負も、いつか社会のために役立つことができると思ってがんばりました。そうこうするうち、眼に怪我をしました。ケガの功名と言うけれども、現場では「ダメ」と、技術研究所に転勤したのが新しい人生の始まりでした。年は27歳でした。

技研では、誰もやりたくない、論文にもならない泥臭い研究(VTR自動編集システム研究)に集中しました。これを完成させれば、現場での過酷なVTR番組の編集労働を避けることができるという使命に燃えて……。苦節6年、ようやく完成。幸い、今でも大型ドラマで使ってもらっています。

一仕事終われば放心状態。私は、自分の持てる気力を賭けてみようと思いました。無謀にも、技師長にどうしても放送衛星の開発をやりたいと訴えに行きました。人工衛星は素人だったけれども、私の熱意を技師長は聞いてくれました。そして、私は1メートルもの高さがある英文の概念設計書を積み上げられ、衛星技術を理解する努力が始まったのです。時36歳。

宇宙開発事業団に出向が決まったのは、英文を読み始めてから3ヵ月目、ついに本格的にやれる日が

きたのです。「体が続く限りがんばるぞ」。ついに、5年後の打ち上げの時には、筑波宇宙センターでの追跡管制のチーフとして難しい3軸姿勢制御衛星の管制の仕事が任されたのです。

人工衛星はまったくの素人の私が、そこまで行けたのは、どんな事でもやればできるという強い信念があったからです。小学校のときは体育が苦手だったのに、中学では野球の選手にもなれたし、思い切ればラグビーのタックルも楽しくなることを高校で経験したからかも知れません。

「やる気があれば、誰でもできる」、私はこれが言いたかったのです。そして、これまでの跡を振り返ってみると数々の失敗がありました。失敗もたくさんのかを教えてくださいました。

「やればできる。失敗を恐れずTryしよう」、がんばれ高輪台高校の皆さん!



短大生に講義する松前学長。

Corner of a school staff

教職員のコーナー

他者を思いやる以上の強さは無い



3学年主任
神田 秀樹
国語科、ゴルフ部

本校に転勤して早や5年。バスと電車を使っての通勤も5年目に突入した。毎日毎日、日替わり幕の内弁当の様に色々な人が色々な周りの人に迷惑を掛けている姿を見ながら通勤している。そこまで大きな音を出す必要があるのかと不思議に思うヘッドホンステレオの音漏れ。今や生活必需品となった携帯電話での通話。車内アナウンスが「通話はおひかえ下さい」

と繰り返す声がむなししい。

私は思う。この世は一人では生きていけない。また、一人なら生きていく意味も無い。一人が二人になった時、そこには「思いやり」が必要となってくるのだと。自分以外の誰かが存在したその瞬間から、今自分がしたいことをして誰にも迷惑を掛けてはいないかを考え、誰かのために今の自分の気持ちを抑えることができたなら、こ

れほど強い心は無いと思うのだ。「他者をいつでも自然に思いやる」そんな心こそ「美しい」ものなのではないだろうか。更にそれを一歩進めて「誰かのためになる」ことができたなら、これ以上の人間的魅力は無いと思うのだ。本当の「強さ」と「美しさ」を君が持とうとすることが世界平和を実現する一歩となる。

活躍

する卒業生

Activity graduate

99年度卒

高田 淳

東海大学法学部法律学科卒
小糸製作所勤務

「子供の人権」問題に携わる弁護士達が演劇を通して社会に理解を求める活動をしている。卒業生の高田君はこれに惜しめない協力をし、自らも舞台上で演じている。東海大学法学部の学部・学科案内に優秀な学生として彼の文章と写真が掲載されている。角田教授の秘蔵っ子である。本号から、希望を星につないで活躍する先輩達を紹介する。

「法」を学ぶことで社会が見えてくる

高校1年の時、現代文明論（憲法記念講演）に講演をしに来て下さった弁護士との出会いがきっかけで法律に興味を持ち、その内容や仕組みなどを勉強したいと思い、法学部に進学しました。

大学では、これまで様々な分野の法律を勉強してきました。1年次には、少年法のゼミで子どもの人権や少年法の問題などを研究し、さらには実際の実務の状況を多くの学生に知ってもらいたいと、子どもの人権関係を専門とされている弁護士を特別講義に招くこともしました。4年次には、ビジネスに

即応した法律をより深く学びたいと考え、角田先生の知的財産権法のゼミに入りました。知的財産権というのは、科学技術やアートの分野における創作から生ずる様々な利益を保護する権利で、特許権や著作権などのことです。この分野においては、裁判所の判断が企業・法律実務に与える影響が非常に大きいということもあり、ゼミでは判例を中心に関連文献を読むなどして研究・発表し、ゼミの仲間と多くの議論を交わしました。

大学卒業後は、一般企業に就職しますが、これで法律の勉強が終

わったわけではありません。実務に就けば、大学で学んだこと以上の知識や実践力が試されることでしょう。ですから、私にとって法律を学ぶことに終わりはありません。



恩師角田教授と。

わが町高輪の歴史散歩……………④

イギリス公使館 ～高輪東禅寺～



1学年所属
杉山 元夫
地歴・公民科、写真部顧問

ハリスが来日したとき、外国人を目の敵にする日本人はおらず、実に平和でした。けれどもハリスが江戸幕府と結んだ「日米修好通商条約」をめぐって特に孝明天皇の勅許を得るかどうかをめぐって尊皇攘夷運動が嵐のように吹き荒れ、外国人はいたるところで襲撃的にされました。ハリスに同行した通訳者ヒュースケンの殺害、生麦事件など、血なまぐさい事件がおこります。

イギリス公使館のあった高輪東禅寺は1861年水戸藩士14人によって夜襲をかけられました。大老井伊直弼が水戸藩士らに暗殺されて1年後です。幸い初代イギリス公使オールコックは休暇中で留守。代理公使のオリファントが傷を負い

ますが、医者の手当を早く受けたので命をとりとめます。14人の20歳代の若き水戸浪士は当日品川宿の女郎屋虎屋に集合し、夜になって侵入。オリファントの腕に深手を負わせましたが、いっしょにいた長崎領事モリソンの発射したピストルに怯んで、攻撃がゆるみました。

その時幕府の命令で警備にしていた人数は約200名いました。侵入者のうち3名が斬られ、1人が負傷して捕えられました。虎屋に逃げた者3人は捕手に囲まれて自殺。1人だけ縄を打たれました。護衛の武士たちにも5人の死者が出ています。

たまたま公使オールコックから留守番を頼まれたオリファントには迷惑な事件ですが、その彼がその時の状況を次のように記しています。「午前3時友人の腕に助けられ、衝立をまわって食堂に入った時に、凄惨な姿に目をみはった。柵の前に、

胴体から完全に離れた生首が転がっていた。体は床の真中に横たわっている、私は最初に寝巻きで、はだしのままとび出したので、屠殺でもこの場で行われたように、血を踏んで滑りかけた。何もはかめ足に、牡蛎のような感じのものを踏んだのを見ると、人間の眼玉であった」

私は品川と学校を往復する度に東禅寺の前を通り、生徒といっしょだとイギリス公使館襲撃事件の説明をします。東禅寺の静かなたたずまいを見る度に150年前におこった凄惨な事件が嘘のようで、20代の若者たちを死に急がせた時代が二度と訪れることがないように祈るだけです。



東禅寺より東海道をのぞむ。右側がJR品川駅。14人の水戸浪士がこの道を通って公使館を襲撃した。



東禅寺境大。広々としている。200人の警備兵が常駐していたが、事件後500人に増員されたので、いくら広いといっても手狭だったのではないかとと思われる。



東禅寺正門。「イギリス公使宿館跡」の表示あり。

掲 示 板

学園基礎学力定着度テスト

4月13日(火)

★春期学園基礎学力定着度テストの結果は、そのまま大学推薦のための持ち点に加算されます(2・3年生)。全力で取り組んでください!!

2004年度基礎学力定着度試験 出題範囲

教科	1年	2年	3年	
国語		(1) 現代文(論説文の読解) (2) 古文(散文の読解、古典常識・文法問題を含む) (3) 漢文(読解、語法等の問題を含む) (4) 国語常識(四字熟語、文学史、敬語の用法を含む)	(1) 現代文(随筆の読解) (2) 古文(散文の読解、文法問題を含む) (3) 漢文(読解、語法等の問題を含む) (4) 国語常識(四字熟語、文学史、敬語の用法を含む)	
歴史・公民・社会科	中学校で学習した内容	(1) 総合問題 (2) 世界史(先史・古代オリエント世界、古代ギリシア・ローマ世界、古代インド・中国〈殷〜唐〉、中世ヨーロッパの成立〜近代ヨーロッパの誕生、近代国家の成立〈絶対王政〜市民革命〉、19世紀の諸世界〜第二次世界大戦後) (3) 公民(日本国憲法と基本的人権、政治のしくみと国際政治、市場経済と財政・金融、現代社会の諸問題〈世界の人口・資源・環境問題〉、青年期の課題〈心理など〉、三大宗教、思想の源流〈古代ギリシア・中国思想など〉)		
数学		(1) 「数学Ⅰ」 (2) 「数学A」	(1) 「数学Ⅰ」 (2) 「数学Ⅱ」 (3) 「数学A」 ※数と式、式と証明、数列(ただし、漸化式と数学的帰納法を除く)	
理科		(1) 総合問題 (2) 物理(運動方程式、気柱の振動と共鳴、電荷・気体の状態変化) (3) 化学(物質の構造・物質量、物質の反応、無機物質・有機化合物) (4) 生物(細胞の観察、動物の発生、腎臓の構造と働き) (5) 地学(地震・火山とプレート運動、知識調査と地歴史、地球と惑星の運動・惑星の特徴)		
英語		「英語Ⅰ」、「オーラルコミュニケーション」で学習した内容		「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「オーラルコミュニケーション」で学習した内容
※全学年ともに、リスニング重視 リスニングはTOEIC/TOEFLの問題形式を採用				

行事予定

April 4月

May 5月

- 1日(木) 新入生登校(13:00)
- 2日(金) 第61回入学式(10:00)
- 5日(月) 前期始業式・対面式・就任式
- 6日(火) オリエンテーション(1年)
臨時休業(2年)
健康診断、写真撮影(3年)
- 7日(水) オリエンテーション(1年)
健康診断、写真撮影(2年)
臨時休業(3年)
- 8日(木) オリエンテーション、健康診断、写真撮影(1年)
臨時休業(2・3年)
- 9日(金) 授業開始
- 10日(土) 保護者会(1年)
- 13日(火) 春期学園基礎学力定着度試験(1・2・3年)
- 15日(木) 進路説明会(3年)(1時限目)
- 16日(金) 新入生仮入部期間終了
- 17日(土) 保護者会(2・3年)
- 20日(火) 生徒個人面談開始(〜5月14日まで)
- 22日(木) 憲法記念講演(1年)(1・2時限)
校医相談日
- 26日(月) 火曜日の授業
移動教室(〜5月14日)
- 29日(木) みどりの日



- 3日(月) 憲法記念日
- 4日(火) 国民の休日
- 5日(水) こどもの日
- 6日(木) 朝礼
- 8日(土) 後援会定期総会・部活動後援会定期総会
- 12日(水) 一斉公開授業
- 13日(木) 学年集会(3年)、校医相談日
- 14日(金) 水曜日の授業
- 15日(土) 校外活動(1・3年)
スポーツ大会(2年、本校総合グラウンド)
- 19日(水) 中学校巡回、中学校訪問(1年)、自宅学習(2・3年)
- 22日(土) 後援会委員総会
- 25日(火) 中間テスト(〜28日まで)
- 29日(土) 特設模試(1・2・3年)
- 31日(月) 教育実習開始
(6月18日まで)



編集後記

今年は学校創立61周年です。『飛躍』も今号で221号です。かれこれ20年も続く冊子となり、先輩の先生の努力と歴史を感じます。今号の4月号から装いも新たに、登場することになりました。これまで同様にご愛読ください。ご意見、ご感想がございましたらお寄せください。(ゆ)